

タイ進出場の可能性

AGENDA

- 現状
- タイという国
- 今後の可能性

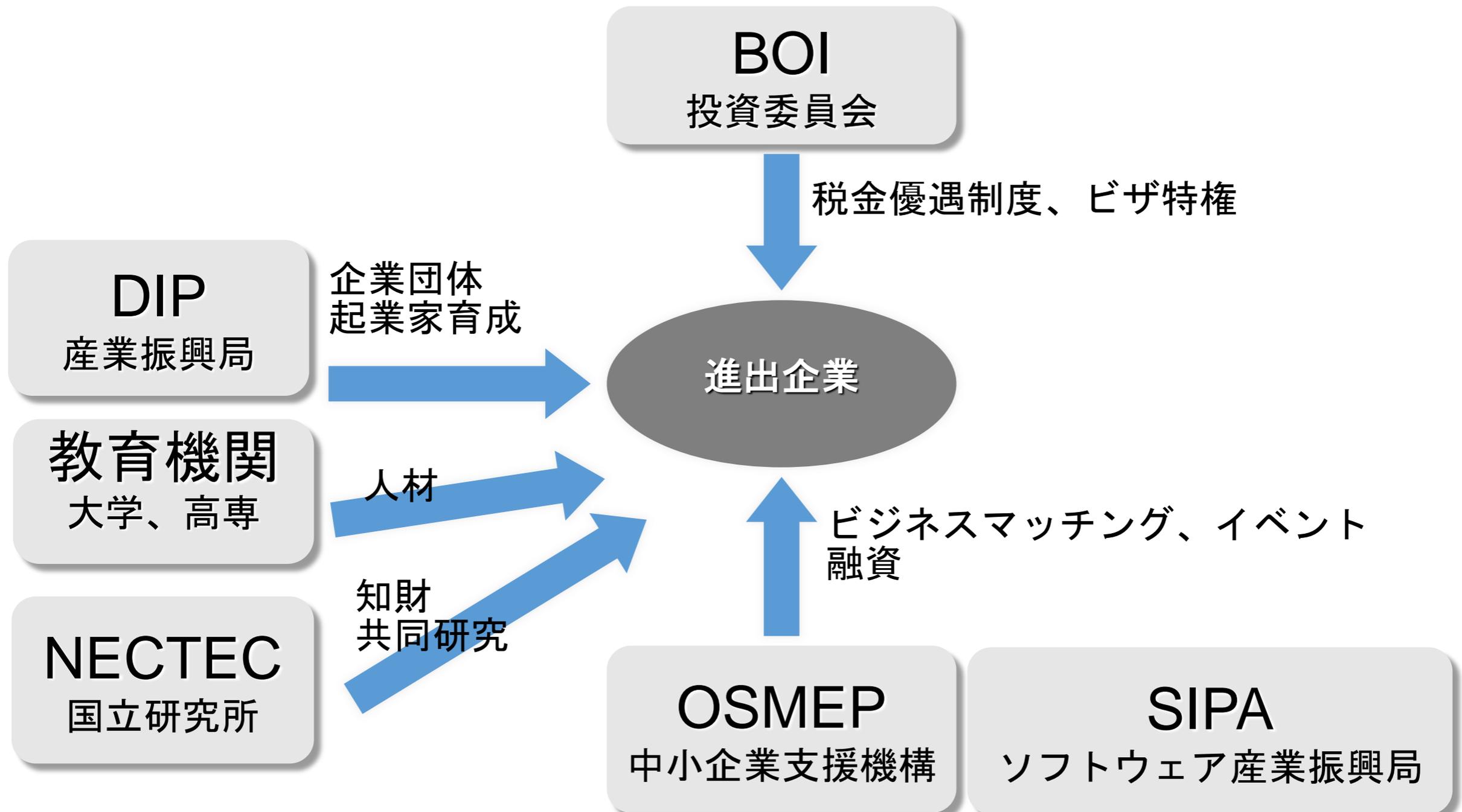
日本のリスク

- 老いた巨大経済国 → 若返るには？
- 国内需要の飽和、退化 → 市場発掘
- 中国の姿勢、韓国の追いかけ → 生産力向上
- 次世代の気力低下 → ???
- 自然災害と地理的な限界 → 新境地

一般情報

- 人口 6 5 0 0 万人
- 平均物価：日本の 1/3
- 給料：
 - 高専：7,000-9000B
 - 学部卒：10,000-15,000B
 - 大学院：25,000-30,000B
- マネージメントクラスになると急激に上がる

政府支援



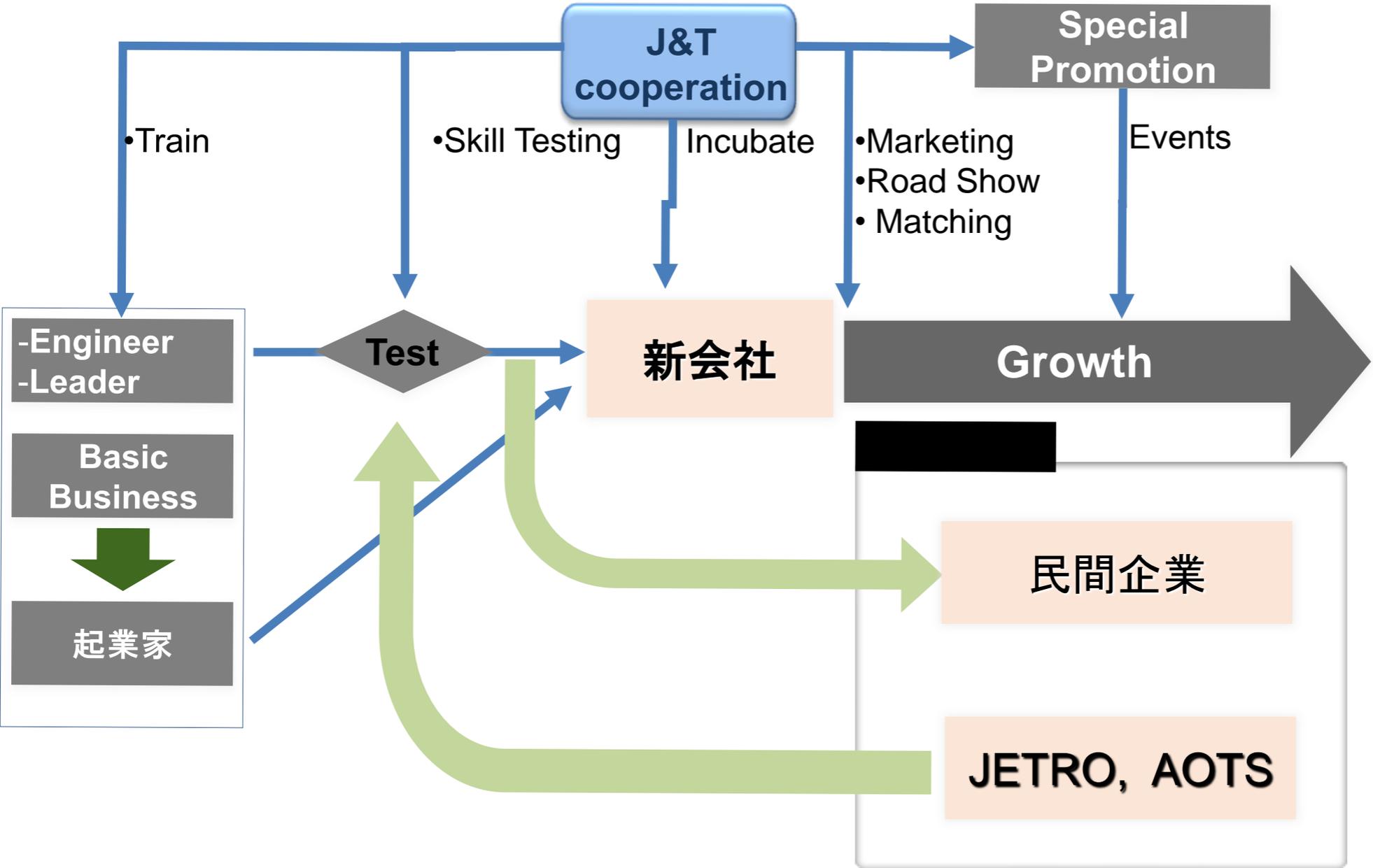
BOI

- 法人税免除：
 - **0% 最大8年間**
 - ** 業種、所在地による
 - BOI とNON-BOIの事業混在可能
- 機械輸入税免除
- ビザの特権：在住日本人用のFAST TRACK
- 経済特区でFREE TAX ZONEあり

Smart City Project

- Tourism
 - Phuket, Chiangmai
- Healthcare
 - Chonburi
- Ageing Society
- Smart Farming
- Communication
 - CAT, Tot
 - Wifi, GSM, 4G, Lora, BLae
- Content
 - SIPAi
- Security
- Energy
- Law

Training



親日国

- 根強い日本文化
 - マンガ／アニメ、ファッション、TV
- 長い歴史の日本企業進出
- 日本食入手性、雑誌、番組
- 治安の良さ

タイ日工業大学

- 日本留学OBによる大学
 - 母体：タイ日技術振興協会
 - 支援：タイ日経済協会(JTECS) 経済産業省
- 「もの作り」大学
 - 自動車学科, IT, BUSINESS
- 特徴
 - 日本語を第2外国語、日本企業へ研修制度

環境

- 災害の少ない地域
- インフラが整っている
 - 電気、水道、道路、インターネット
- 政府政策
 - 変化が少ない
 - 外国への送金阻止する動きがない

タイをどう見る

- 安い賃金を生かしたコストダウン、生産性を上げる
- 新しい市場、アジアンへの扉
- 新しいビジネス発掘

新しい市場

- 日本の高度な技術を広める
- 早い段階で展開
- 利益還元できるビジネスモデル構築

ポイント

- 現地の価格帯に合わせて、現地生産
 - 現地に根付いたビジネスモデル
 - パートナーの重要性
- 最初から世界展開を視野に入れる
 - ガラパゴス回避
- 日本の優位性を保てる体制

新しいビジネス発掘

- 現地の利点と日本の良さ
- 対等な立場での協業
- 物理的な制約以外の保護方法
- コンテンツビジネス等

日本の課題

- ハードは独自 → 日本の技術は負けていない
- ソフトは皆で作る → 日本も可能
- ビジネスモデル → 任天堂のゲームモデル
- ブランド作り → まねできない！

対応可能な例

- デジタルコンテンツのビジネス
- オンラインサービス、モバイルアプリ
- ソフトウェア開発
- ハードウェア、組み込みシステム開発

個人レベル

- 定年退職者の再就職、アドバイザーとしての採用
- 日本政府のJODC制度でタイ企業へ指導員として派遣
- 日本の人脈で、タイ企業を日本へ営業

次のアクション

- ビジネスマッチング
 - 両国の要望を集め、配布して可能性のある企業を探す
 - 視察旅行
- 定期的な情報交換の場
- 個別紹介／詳細交渉

懸念事項

- 生産技術の空洞化
- 知財の保護：法的と実態
- 継続的な人員育成
 - グローバルなビジネスに対応できる次世代
- 日本政府の支援

- 有り難う御座いました。
- wiwat@jowit.com